

心肺停止の診断、治療のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター救命救急医療科では、上記の病気で受診された方の診療情報を使用し、京都大学 環境安全保健機構附属 健康科学センターを代表機関とする多機関共同臨床研究に参加いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究

【研究の背景と目的】

近年、日本における病院外での心停止患者さんの社会復帰率は大きく改善しています。しかしながら、患者さんが搬送された病院で行われる集中治療の実態ならびに有効性については十分に検討されていないのが現状です。

今回、我々は病院外で発生した心停止患者さんの病院到着後の集中治療に関する蘇生記録ならびに社会復帰に関係すると思われる検査所見を登録し、病院での集中治療の効果を検討することを目的としております。

【対象となる方】

2028年5月31日までに当院救命救急センターへ搬送された心肺停止の患者さん

【使用する診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者の監督の下に適切に保管・管理致します。
診療記録情報 :

1. 基本情報登録

性別、年齢、救急隊時刻情報(覚知時刻、病院収容時刻)

2. 病院到着前救護記録

救命救急士乗車、医師同乗、普段の生活状態、心肺停止の目撃、発生場所、居合わせた人(バイスタンダー)による心肺蘇生、市民による除細動、救急隊時間経過(覚知時刻、現場到着時刻、患者接觸時刻、隊員による心肺蘇生開始時刻、病院収容時刻)、救急隊到着時の状態、救急隊等活動中の医師による2次救命処置、救急隊到着時の最初の心電図波形、除細動、最終気道確保器具、静脈路確保、エピネフリン投与、病院収容前の心拍再開

3. 病院到着後記録

病院収容時刻、ドクターカー・ヘリ出場、病院収容後の最初の心電図波形、12誘導心電図、中枢温度、身長・体重、病院収容後処置(除細動、気管挿管、体外循環、補助循環、心血管カテーテル検査、心血管ステント留置、低体温療法)、心停止中薬剤使用、患者背景、血液データなど通常の診療範囲内で行う診察や検査の結果、心停止に至った原因、病院搬入後の状態、積極的治療中止の有無とその原因、発症1ヶ月後生存、発症90日後生存、発症1ヶ月後の脳機能、発症90日後の脳機能、入院前および退院後の生活様式に関する情報、退院後の健康関連quality of life (QOL)

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日から2028年5月31日まで実施され、全国で15000名の方にご参加いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報は、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

【情報の二次利用】

本研究で得られた研究対象者の情報等は、同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いる可能性がある。その場合には、新たな研究計画や研究計画の改訂について倫理審査委員会で承認された後に行う。さらに、同研究に関する施設のホームページ上で研究の目的を含む研究実施の情報を公開し、研究対象者が拒否できる機会を保証する。

【結果の公表】

本研究の研究成果は査読論文として発表予定です。その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究代表者】

京都大学 環境安全保健機構附属 健康科学センター 主任教授 石見 拓

【共同研究機関】

参加研究機関に関しては下記のホームページをご参照ください。

<http://www.jaamohca-web.com/list/>

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 救急医療科 松島 久雄（主任教授）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 救急医療科 担当者：畠山 稔弘（学内助教）

埼玉県越谷市南越谷2-1-50 電話番号：048-965-9047（医局直通） 平日 10:00～16:30

以上